

# マスコット投票通信

Vol.3

広島県 広島市立 日浦小学校

## 学校紹介

広島市立日浦小学校の6年生のクラス（児童数22名）で、1月24日にマスコット投票を行いました。

日浦小学校は、明治6年に創立しました。広島市中心部から北に約16キロメートル、安佐北区の南西部に位置しています。学区には、オオサンショウウオやクロサイのなどの繁殖でも知られる安佐動物公園があり、遠足で訪れるだけではなく、全学年が安佐動物公園と連携した学習も行っています。

今回の学習では、マスコットの投票だけに終わらず、事前にパラリンピックについての学習を行ったことで、マスコットに込められている思いや願いを深く汲み取ることができました。都心からは遠距離にある広島市の学校でも、今回の学習を通して、東京2020オリンピック・パラリンピックを身近に感じることができました。

## 授業の流れ

マスコットの投票の時間も含め、全3時間の授業を行いました。

- ① I'mPOSSIBLEを活用し、『パラリンピックとは何か』を学びました。リオ大会のパラリンピックのダイジェストを視聴した後、パラリンピックの起源や使用されている用具について詳しく知ることができました。（45分）
- ② 前時の学習を振り返った後、I'mPOSSIBLEを活用し『パラリンピックスポーツ』について学びました。「記録」「工夫」「用具」「サポートする人」の4つの観点から考えることで、公平に誰もが楽しめるスポーツだということを知りました。（45分）
- ③ 過去の大会マスコットを掲示し、マスコットには大切な役割やそれに込められた思いや願いがあることを学びました。その後、今回のマスコット3案についてそれぞれの特徴を話し合い、グループ毎に投票を行いクラスで1つに絞りました。（45分）

## 投票の様子



事前に、パラリンピックやパラリンピックスポーツについて学習しました。



班でマスコットの特徴を話し合い、投票するマスコットを1つ選びました。

## 児童からの感想

- ・体が不自由な人でも、楽しそうにスポーツをしている姿に感動しました。
- ・パラリンピックスポーツは、選手が公平にプレーできるような工夫がたくさんあることがすごいと思いました。
- ・パラリンピックの事（起源や用具など）をたくさん知ることができて良かったです。
- ・是非、東京2020パラリンピックを見てみたいと思いました。
- ・パラリンピックの選手に負けたくないよう、色々なことにチャレンジしていきたいです。

## 先生方からの感想

パラリンピックの学習を通して、『諦めなければ何でもできる！』という気持ちをもってくれたのではないかと思います。  
東京2020オリンピック・パラリンピックを身近に感じることでできる貴重な時間になりました。

## マスコット投票時に活用した教材等

国際パラリンピック委員会（IPC）公認教材「I'mPOSSIBLE」

東京2020組織委員会から提供された教材や各種素材